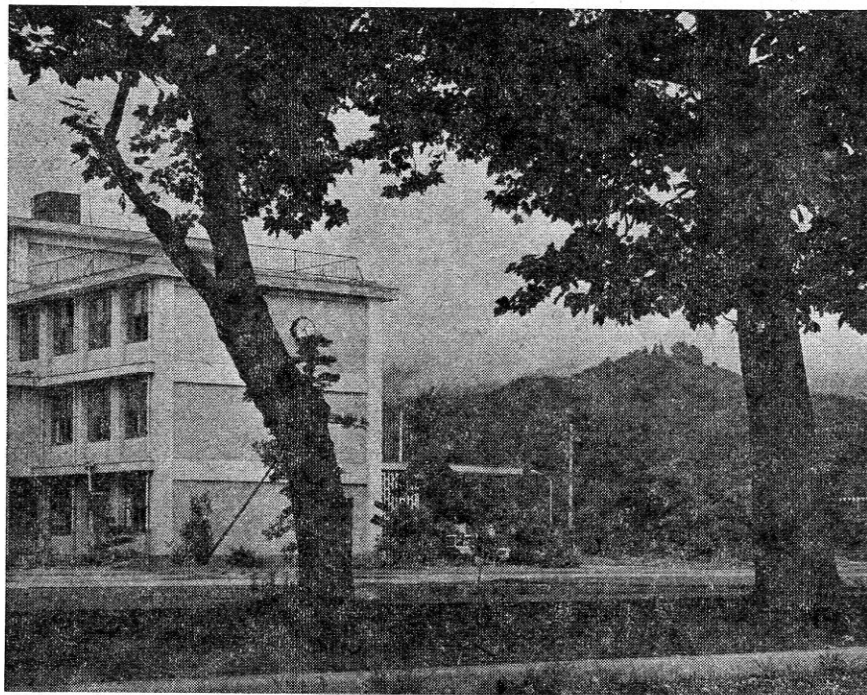


広陵

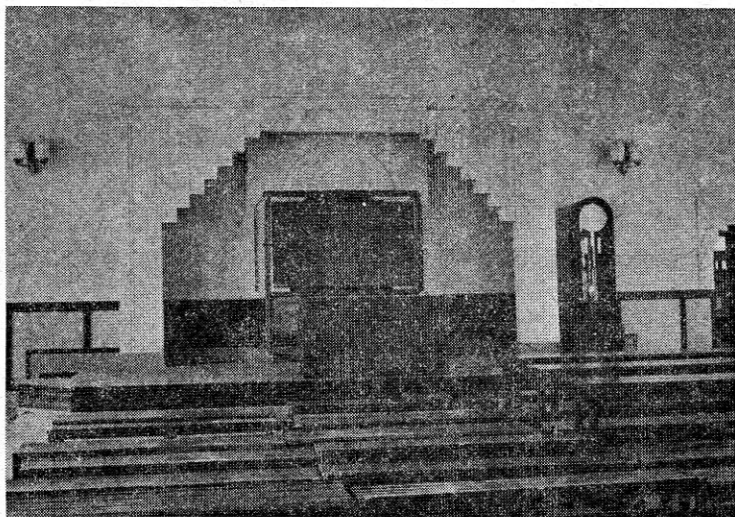


第 3 号 総会への誘い号

49. 7. 1

神奈川県立秦野高等学校同窓会々報

《 思い出のシリーズ 》 (そのⅢ)



大正12年に竣工した講堂内部。当時としては県下唯一のハイカラな建物だった。昭和39年以後、武道場として使用。命脈つき、老朽化し危険のため、昭和46年とりこわされた。

同窓会々報 第三号 目次

表紙	題字	宮本信義(中5)
写真(全紙面)「かぶらき写真館」	蕪木孝之典(中15)	
母校五十周年のことども	会長 湯沢昇平	1
母校の近況など	母学校長 新山 泰	2
秦野支部結成の動き	加藤 頼章	2
母校五十周年実行計画が決まる		3
総会のご通知		4 / 5
会報発刊に当って	会報委員長 渡辺元彦(中11)	6
卒業生母校にかえる		6
母校の動静	母学校教頭 岡本 弘	9
同期会便り		10
恩師訪問	レポーター 能条斐雄(中6)	
	渡辺元彦(中11)	11
母校の近況・進学カルテ		12 / 13
就職状況		13
会費納入状況		13 / 14
編集後記		14

母校五十年のことども

会長 湯 沢 昇 平 (中3)



我々の仲間の中には財産をつくった人、地域社会で高い地位にしている人、など成功した人が多く喜ばしいことです。が平凡に誠実に自分の仕事をやり貫いているめだたない人は多勢います。事業でも、勤労者でも、学者でも、自分の個性的なものを十二分に実現した人、気負わず、じつ々まう結果となっていることがある。自分と他人の間つなかりを忘れてしまった結果です。

意識しないで社会とつながっています。お互い関係し合っていることが社会の出来上がりだと思うのですが、世の中には飛び上ってしまった人達がいます。人間を尊重しているような形で人間を無視、軽視してしまつたことが、現代の風潮の中にありほしくないか。金権、物質、自由のようなものは人々の目的であらう、財宝をさすくこと、他人のものまで占有し、ほかのものにはぐちをわけてしまつた貪欲にかわり、規範を飛び出してしまつて、規程の中てみんなが同じ暮らしをするとはだか関係が生れるので、これが同窓の良きで、この関係が理想社会の芽と思つたのです。倫理、思想など体系化されたものと、次元の違つたものです。この下に道

いだらうが、物質文化が極度に発達した結果自然と共に生きて来た人類の姿が變つてしまつて、作為された社会に対する本能的な拒絶反応がおきているのです。人々や物を愛する心がなかつたら人類は間もなく滅びるのであらう。そこで一つの中心を友愛のような心の働かしにもつていかなければならない、昔の人がよく言つた惻隱の心だと思つたのです。

この心の働かしは人のほけましとなり、力となり、又は行動の自となつた時は全校たつた二〇〇人位のものでした、三八銃をかついで、かつぐといつとひとくおこられ、我々の同窓会は八五〇〇人の連帯となりました。僕等が中学に入った時は全校たつた二〇〇人位のものでした、三八銃をかついで、かつぐといつとひとくおこられ、

徳があつてもよい、政治、経済があつてもよい。東南アジア地区の日本留学生を日本に招待しようとして政府が考えたよつて政治とは別に同窓会の効能は確かにあるでしょう。誠に結構なことです。同窓会の中には作爲された作用がないのが特徴、これは大変喜ばしいもので同窓諸兄がこの恩恵をうけたことが度々ある筈です。若し幹事の着想に先輩組が賛成して母校、後輩、同輩に対する会員の真情を結果しようとするので諸兄のご支持を得られるものと確信しております。

「会報」を飾る写真
無木孝之興氏(中15)提供
秦野市で「かぶらき写真館」を経営。秦野市写真館の老舗
母校創立当初から親子でアルパム作成など、技術とまごころで尽力されている。
この会報にも無報酬で協力されている。深謝。

合歴史をもととつとする運動が澎湃と起きてきました。老人にとつてはそれを郷愁と片付けてもよい

今年別項でお知らせしたとお

り、昨年の総会決議にもつていて、母校五十年の同窓会記念事業を実行にうつしました。昨年総会時の会員諸兄の熱意に応じて所期の目的達成に邁進したいと実行委員一同張り切つて進みますので諸兄の積極的なご支援を切にお願いいたします。記念事業の主なものである校庭造園は最初に本件を討議した時、学校を卒業したばかりの

り、昨年の総会決議にもつていて、母校五十年の同窓会記念事業を

母校の近況など

母校校長 新山 泰

今年も四月を迎えると旦々に校庭わきの桜の並木が爛漫と咲きはじり、新一年生の入学を祝うかのより、本学校では今年二級級（注）に新設された秦野市管職技場が四五〇名という定員になりました。逐年二級級で再来年には三十級といふ大規模校になるわけです。これに伴って校舎も増築する事になり、正門を入って正面近く着工する事になっております。又、新一年には女子が八十五名入りました。十年余りとたてていた男女共学が再出発したわけです。授業や指導の面で今までの男子だけと違った配慮が必要であります。校内にも何となくよかかな雰囲気が見られ、ますます成功したと思っております。

概も散り、校庭のプラタナスや

った催しを続けたい考えです。運動の方面では早くも庭球部、卓球部の関東大会出場がまきまるなと皆頑張っております。これから夏を迎え練習が最盛期になることでしょう。身心共に急激に成長してゆく年頃の生徒達ができるだけ多量に迎える準備ができています。五十年来にわたる本校の歴史を振り返り、その歴史を正しく方向に伸びてゆくよう、職員一同日夜念願し、努力を傾注してまいりたいと考えています。

正しい方向に伸びてゆくよう、職員一同日夜念願し、努力を傾注してまいりたいと考えています。

母校も創立以来半世紀の歴史を迎え奈珂中学校であった当時の数々の思い出、そしてその歴史をおおぐことになり、昭和四年の第一回目の卒業以来同窓生

迎え奈珂中学校であった当時の数々の思い出、そしてその歴史をおおぐことになり、昭和四年の第一回目の卒業以来同窓生

迎え奈珂中学校であった当時の数々の思い出、そしてその歴史をおおぐことになり、昭和四年の第一回目の卒業以来同窓生

迎え奈珂中学校であった当時の数々の思い出、そしてその歴史をおおぐことになり、昭和四年の第一回目の卒業以来同窓生

迎え奈珂中学校であった当時の数々の思い出、そしてその歴史をおおぐことになり、昭和四年の第一回目の卒業以来同窓生

迎え奈珂中学校であった当時の数々の思い出、そしてその歴史をおおぐことになり、昭和四年の第一回目の卒業以来同窓生

迎え奈珂中学校であった当時の数々の思い出、そしてその歴史をおおぐことになり、昭和四年の第一回目の卒業以来同窓生

迎え奈珂中学校であった当時の数々の思い出、そしてその歴史をおおぐことになり、昭和四年の第一回目の卒業以来同窓生

迎え奈珂中学校であった当時の数々の思い出、そしてその歴史をおおぐことになり、昭和四年の第一回目の卒業以来同窓生

秦野支部結成の動き

加藤 頼章 (中3)

部 長 会 決 議 にも 支 母 校 五 十 周 年 記 念 事 業 同 窓 会

支 母 校 五 十 周 年 記 念 事 業 同 窓 会

支 母 校 五 十 周 年 記 念 事 業 同 窓 会

支 母 校 五 十 周 年 記 念 事 業 同 窓 会

支 母 校 五 十 周 年 記 念 事 業 同 窓 会

支 母 校 五 十 周 年 記 念 事 業 同 窓 会

支 母 校 五 十 周 年 記 念 事 業 同 窓 会

支 母 校 五 十 周 年 記 念 事 業 同 窓 会

支 母 校 五 十 周 年 記 念 事 業 同 窓 会

支 母 校 五 十 周 年 記 念 事 業 同 窓 会

支 母 校 五 十 周 年 記 念 事 業 同 窓 会

支 母 校 五 十 周 年 記 念 事 業 同 窓 会

支 母 校 五 十 周 年 記 念 事 業 同 窓 会

支 母 校 五 十 周 年 記 念 事 業 同 窓 会

母校五十周年 (昭和51年)

“実行計画”が決まる

葵野高校が、大正十五年十月二十九日奈珂中学校として産声をあげてから来年で五十年目になります。趣意書にも書いてあるように、一万人になんかとする同窓諸兄姉が社会に巣立ち活躍中であることは周知の通りであります。

行事に対する同窓会としての取り組み方を話し合って以来、定期総

同窓会記念事業と醸金方法

1. 記念事業
 - ① 校庭の造園
 - ② 同窓資料の収集
 - ③ 同窓会名簿の発行
2. 醸金 額：800万円
3. 醸金 期間：昭和49年8月5日
昭和50年3月31日
4. 醸金方法
 - ① 1口1,000円 (口数制限なし)
 - ② 各支部、地域、職域、期の記念事業実行委員会にお渡し下さい。
 - ③ または、同窓会の銀行口座、郵便振替口座か現金書留にして下さい。

会を経て、昭和四十九年二月の幹事会の席上実行委員会を組織することに決定し、同年四月職域、地域、期の代表者二百三十余名が委嘱され、具体的な任事に着手する。ことにになりました。引続き五月十日に第三回実行委員会を母校会議室にて開催し、母校愛にもえた募金額は八百万円に

募金額は八百万円に

一口一、〇〇〇円口数制限なし

各募金委員か 振込口座で

(同窓会口座 東京 二二六八九番)

ただかわされました。二回の幹事会では「記念事業や醸金方法」になりまして、会員数の割には集つては「別掲」の如く決まり実らず、「広陵」発行もあやぶまれ施の運びとなりました。「校庭の造園」については母校の環境整備に一役買うという意味から四百方でありました。したがって、委員を、「同窓資料の収集」は当初の「同窓文庫」を貸戻して半世紀に目を回顧展を通して将来を展望す

募金委員 長

前述しましたように、各支部、地域の募金委員長が決まりました次の通りです。

- | | | | | |
|---------|----|----|---|----|
| 支部(地域)氏 | 名 | 期 | ○ | 中学 |
| 桑野 | 加藤 | 頼章 | ③ | |
| 平塚 | 鷲尾 | 彦一 | ③ | |
| 伊勢原 | 渡辺 | 元彦 | ⑪ | |
| 茅ヶ崎 | 青木 | 滋 | ⑥ | |
| 大磯 | 梅田 | 義雄 | ⑧ | |
| 中井 | 相原 | 良三 | ⑦ | |
| 厚木 | 平本 | 正雄 | ⑨ | |
- なお、未定の地域については早く、本部と話し合い決めるという事です。
- 〈校内幹事 青木利之(高4)記〉

秦野でお会いしましょう!!

秦中高 8,000 有余の同窓生諸君

総会日時 8月4日(日) P.M. 2.00

総会場所 秦野市 秦野商工会議所

会費 2,000円 秦野市落合340 ☎(81)1355

幹事会の経過

「いつもだと幹事会は年頼もしい限りでした。第一回は昨一回、総会の前その持ち方を中心として開催さるのが普通ですが、昨年度は三回も開催された。回数が多いことだげがよいとはいえません。が、五十周年記念事業に對する熱意の程が何われに燃えた熱心な討議がなされた。

「いつものと幹事会は年頼もしい限りでした。第一回は昨一回、総会の前その持ち方を中心として開催さるのが普通ですが、昨年度は三回も開催された。回数が多いことだげがよいとはいえません。が、五十周年記念事業に對する熱意の程が何われに燃えた熱心な討議がなされた。

総会のご通知

会長 湯沢昇平

今年の総会を八月四日秦野で行ないます。兎に角参加して同窓会の有効な活動のため高説卓見を発表して下さい。幹事会は議事を筋書きなしの自由討議にしたりして新機軸を模索してみました。

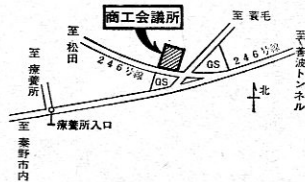
総会のご案内

昭和四十九年度

秦中高同窓会

— 総会会場案内 —

あし：バス＝小田急線大秦野駅から「菟毛」又は「療養所」行で「療養所入口」下車、徒歩5分
マイカー＝国道246号線北側道路ぞい



48年度事業報告

- 4月28日：第一回幹事会開催
 - 6月2日：第二回幹事会開催
 - 7月10日：会報第2号発行
 - 8月5日：総会開催(小田原だるま)
 - 9月2日：第三回幹事会開催
 - 5月く8月：弓道、卓球、庭球の関東、全国大会、団体出場選手に激励金をおくる。
 - 3月20日：プラスバンド部に助成金をおくる。
- 以上の他、各種委員会、慶弔活動等を行なう。

49年度事業計画案

- 一、幹事会、委員会、総会等の開催
- 一、会報第三号の発行
- 一、五十周年記念事業の推進
- 一、会費納入の促進
- 一、組織の強化
- 一、在校生激励
- 一、プラスバンド助成
- 一、慶弔

昭和48年度 秦高同窓会決算報告

収入の部 (48.4.1→49.3.31)

項目	本年度 予算額	本年度 決算額
前年度繰越金	433,390	433,390
卒業生入会金	363,000	366,000
会費	200,000	137,500
寄附金	100,000	2,000
雑収入	5,000	7,843
合計	1,101,390	(イ)946,733

支出の部

項目	本年度 予算額	本年度 決算額
会議費	146,000	97,950
総会費	80,000	48,000
幹事会費	36,000	44,950
委員会費	30,000	5,000
事業費	520,000	364,084
県外選手激励費	100,000	23,700
バンド助成費	30,000	30,000
慶弔費	50,000	15,180
会報発行費	340,000	295,204
事務費	102,000	69,150
事務局費	60,000	60,000
通信費	30,000	6,950
印刷費	10,000	0
森林組合賦課金	2,000	2,200
予備費	333,390	0
合計	1,101,390	(ロ)531,184

次年度繰越金 (イ)-(ロ)=415,549円

昭和49年度 秦高同窓会予算案

収入の部 (49.4.1→50.3.31)

項目	前年度 決算額	本年度 予算額
前年度繰越金	433,390	415,549
卒業生入会金	366,000	355,000
会費	137,500	200,000
寄附金	2,000	50,000
雑収入	7,843	8,000
合計	946,733	1,028,549

支出の部

項目	前年度 決算額	本年度 予算額
会議費	97,950	115,000
総会費	48,000	80,000
幹事会費	44,950	20,000
委員会費	5,000	15,000
事業費	364,084	580,000
在校生活動振興費	23,700	100,000
バンド助成費	30,000	40,000
慶弔費	15,180	40,000
会報発行費	295,204	400,000
事務費	69,150	82,000
事務局費	60,000	60,000
通信費	6,950	10,000
印刷費	0	10,000
森林組合賦課金	2,200	2,000
予備費	0	251,549
合計	531,184	1,028,549

母校50周年の準備会の一面

母校創立五十周年が目前に迫って来ておりますが記念事業内容については別の見出しでも取り上げられていることなどは省き、既に行われた実行委員会の一面をお知らせしたいと思います。先ず二月の幹事会で各支部、地域、職域、クラス等から三月末までに実行委員を選出するようきまりましたが、この選出が又仲々の難事で、以前から組織の出来ている地域、職域はまだよいとして、未組織の所は先に組織を確立しないことには実行委員の選出がむずかしく、従って実行委員の選出が別の効果として、組織の強化につながったと思います。

さて第一回の実行委員会ですが、会場が母校だったこともあり、一体どの位の人数が集まるのか不安でしたが、いざ蓋をあけてみると四十名を越す多勢で驚かされた次第です。(総会ですら四十数名のこともありますので) 珍しい顔振れもあり、議論が出し、時間の経過も思わず知らず宵開迫る頃次回を約して解散。

第二回は五月十一日でしたが、会合も二度目は前程のこととはなからうもの考えも見事くつがえされ、負けず劣らずの人数で熱心な討議に終止し、同窓生の意気益々盛んで、母校愛ここにありとの感を深くしました。

〈校内幹事石原正三(中15)記〉

会報発刊に当つて

渡 辺 元 彦 (中11)

初夏騒動の季節となりましたが、

同窓生諸兄にはお元気で御活躍のこと御同慶に存じます。私並びに関係者の貴重な御投稿によ

計らずも第二号会報発刊時より貴りまして盛況山な記事をお届け出任者として先輩の能家先生の後をお引き受けることになりました。今後共折にふれ奮って御送稿が、この方面の知識も才覚も無く、

今更乍ら恐縮致している次第です。この度お手許にお届け致します。何卒先輩各位の御指導御鞭撻をお願い申し上げます。

会報「広陵」も今回を以て第三号を発刊する運びとなり、校内の諸先生方並びに関係者各位にはお忙しい中を大変御苦勞をされてい

ます。お届けします会報は紙質も上等とは言えず全十四頁足らずの無駄なく母校の近況等より広範にお送りし、郵送料等最低限度でお届け出来る様種々努力検討され

後輩 張 頑

懇 談 会

五十周年を迎え、も誠実に二つとつと社会の磨合とよつとする母校もなつていく真摯な人間性をかわれ八千余の同窓生をているといえます。もつにいたりまし、後輩も今や進学率九十九%強とい

初五、六十名程の卒業生数から環として、こうした後輩の進学対新制高校に入つて策として、より身近な激励と大学

数百名の卒業生をの実状を把握せよと、先輩で出するに至つて、よ

うやく八千の同窓を講師に招き後輩のよきアドバイザーを擁するに至り、サーとなつていたかどうかとい

ました。名実共にとになりました。集申する進学のあり方に対して、

現実の雄として自昨年、早稲田大学商学部教授もつと自己の将来の目標に即した

他共に許す伝統との大畑弥七先輩と、日本大学文理工学部教授の柳川三郎先輩を招きま

つて着々とその礎した。他に、PTA会員の日吉博と、尚且つ、意欲のない者、や

を築きつてありま神奈川大学工学部助教授、三原東の気のないう者は、入試のスタート

す。同窓生諸兄も海大、飯村法政大、徳原明治大のライオンにつくべきではないとい

県下は勿論、各地で社会の中堅層と切実な声をじかに肌でうけとめる点、誠に痛い忠告でした。尚大畑

して活躍しており、講話は「現代の大学生気質と親氏はこの六月のPTA進学懇談会にも講師として来校される。

卒業生 母校にかえる

日大文理学部教授 柳川三郎氏(中17)
早稲田商学部教授 大畑弥七氏(中19)

先輩 盛ん 意気

PTA 進 学

は、地味であつてと懇談会は「大学の現状と高校生

〈校内幹事 土屋毅(高4)記〉

(金納入用紙)

↓切りとって使用下さい↓

払込票									
※	口座番号	東京	十	千	万	十	百	十	番
				2	2	6	8	9	
※	加入者名	神奈川県立秦野高等学校同窓会							
※	金額	億	千	百	十	万	千	十	円
※	払込人住所氏名								
料	金	払込	特	殊	受付局日附印				
	備考	円	円	円					
(郵政省) 番号印									

記載事項を訂正した場合は、その箇所に証印して下さい。
各票の記載事項に間違のないことをお確かめ下さい。

文字は正確明りように、数字はアラビア数字を使ってお書き下さい。

払込通知票										
※	口座番号	東京	十	千	万	十	百	十	番	
				2	2	6	8	9		
※	加入者名	神奈川県立秦野高等学校同窓会								
※	金額	億	千	百	十	万	千	十	円	
※	払込人住所氏名									
備	考						受付局日附印			
(郵政省)										

各票の※印欄は払込人において記載して下さい。

(録) 経入用紙

(注) 加入者が自分の口座に払い込む場合の料金は、あらかじめ指定してある郵便局で払い込むときは免除され、その他の郵便局で払い込むときは口座の貯金から差引くことになっていきますから、郵便局で納付する必要があります。

えて郵便局へお出し下さい。

記入(加入者が自分の口座に払込む場合には、払込)し、これに払込金と料金を添

この用紙により振替貯金の払込をなさるときは、表面※印欄にそれぞれ

御 注 意

この欄は、加入者あての通信にお使い下さい。

欄		信		通	
年間会費 円(年額五〇〇円)	五十周年醸金 円(一口一、〇〇円)	卒業回数()	住所	氏名	勤先名称
		()明・大・昭	〒	Tel. ()	Tel. ()
		年 卒			職業所在地

今年から一年生10学級

49年度学級増で

男女共学となつてから、はや二十五五年を経過した。わが秦野高校も創立以来はじめて昭和二十五年に、女生徒にその門を開放し三名の入学をみてから、毎年わずかながらもこの広畑が丘に女生徒の通学する姿が見受しと押しよせ、日本の人口は東京を中心とする首都圏に、あるいはその他の大都市周辺に集中し始めるとともに、日本経済の急速な伸びを、多数の生徒の幸福を考慮する者が増加し、津田県知事

の「昭和五五年までに高校増設六校、六〇年までに一〇〇校」の構想は、社会増を含めても十分受

入学難、その他の関係から、の十年間、学校のマンモス化は学習及び生徒の普通高校への「昭五五年までに高校増設六校、六〇年までに一〇〇校」の構想は、社会増を含めても十分受入るべきである。生徒の普通高校への「昭五五年までに高校増設六校、六〇年までに一〇〇校」の構想は、社会増を含めても十分受入るべきである。生徒の普通高校への「昭五五年までに高校増設六校、六〇年までに一〇〇校」の構想は、社会増を含めても十分受入るべきである。

激動する社会の目まぐるしい変革は、教育界にもその波がひしひしと押しよせ、日本の人口は東京を中心とする首都圏に、あるいはその他の大都市周辺に集中し始めるとともに、日本経済の急速な伸びを、多数の生徒の幸福を考慮する者が増加し、津田県知事

秦高は男子校」というイメージが固定化し、なかなか女生徒の入学は実現しなかった。今年二学級増を機会に、より積極的に各中学を訪れ、受入態勢十分の旨説明し女子生徒の受験を勧誘した。その結果二学級分九〇名には五名足りなかったが、男子に比して遜色のない女子八五名が入学を許され、十年ぶりに男女共学の姿に戻り、学園内にも何となく和やかな雰囲気

女生徒85名入学

区内における男、希望者の数が増加し、津田県知事の入学難、その他の関係から、の十年間、学校のマンモス化は学習及び生徒の普通高校への「昭五五年までに高校増設六校、六〇年までに一〇〇校」の構想は、社会増を含めても十分受入るべきである。

高はじめての女子大重入学は今、後に多くの課題を与えたとも考え

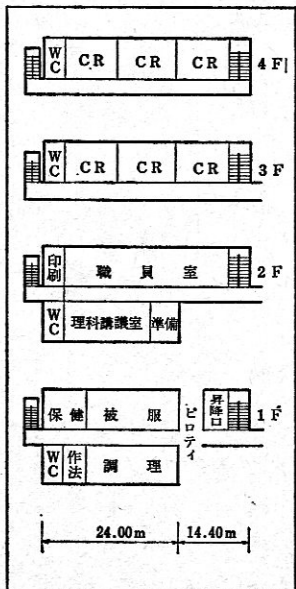
静 動 校 母

10年振りに女生徒入学

本校教頭 岡本 弘

たりに見られなくなつた。本年二学級増を機に、本来の姿に戻すべく、学校長をはじめ職員一体となり各中学に呼びかけ、十学級中二学級分の女子生徒が久方ぶりに秦高の門をくぐつたのである。

打撃を与えてしまった。地価の暴騰は用地買収を困難にし、ついに学が阻まれていた。学は既設校に学級増をせざるを得ない状況となり、わが校も校地に若干のゆとりがあるため、四十九年度入学者から従来八学級三六〇名であったものを十学級四五〇名収容せざるを得ないこととなつた。ていたのであるが、「

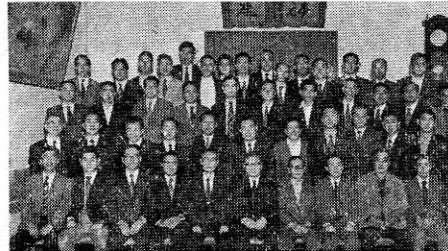


＝同期会便り＝ 併中1回・高3回

校内幹事 中根三郎(高3)

昭和二十年秦者が増え、當日急の参加者も含めて五四名の會員集まり、更に伊佐達は、その年すぐに終戦を迎えた。もの考え方、御出席を御、盛会となった。卒業後間もなく行なった会合以来、実に二〇年振り、仲々名前の浮かばない顔もあったが、話の間により、秦野高校併設中学校生(徒)ということに

身分替となり、二三年三月には三九名の仲間が卒業、他は秦高に入学した。(卒業は二六年三月) 今日、秦高に六年間在学していたという、皆首をかしげる。落第?と思つらしい。学制改革の結果同じ校舎に六年間通わさるを得なかつたのである。



昨年夏、同期会開催の話が出、数回にわたって会合した結果、十月二日大山のこまや旅館で開催することが決つた。

案内状の発送が遅れたのにもかかわらず、日がせまるにつれ申込

また現況の報告、名刺交換等話はどうも併せ報告しておきます。尽きず、再会を約して大山を後にしたのは、八時を過ぎていた。皆し情報交換を兼ね同期の結束を高々それぞれの職場で中堅とし又幹部として活躍して居る事、言動にた。行く先短いだから毎年開け拝察しました。白髪頭が増えたことという意見もあったが、隔年とい

平塚支部結成間近か "総会"を六月中にも

私達平塚市に在任の同窓生は、えます。既に三千余名に及び各異で活躍の事を聞き大変嬉しく又その発展を喜んで居ります。

広畑ヶ丘の学舎を思い、姿勢を改め、お互いに協力しあい、浮べ、御指導を頂いた諸先生方、私達の良き兄であり弟であった先輩輩、り切るよう手を結んで社会に貢献するよう邁進するをモットーに支生の思い出に懐かしさがこみあげてまいります。こた。

「支部便り」の感情が湧くところが、偶々、当市には同窓会会長をはじめ各役員もおいでになるので御「母校」であり「ふるさじめ役員もおいでになるので御と」を思つてであると考え意見を頂き顧問として協力頂き支

う所が大勢の意向でした。次期幹事の意向で、次回は今秋又は今年冬に開く予定です。是非都合をつけて参加されるよう予告します。この度の会を開くに当り、一階堂修治君の献身を多謝。

部の構成を執行部に支部長・副支部長(支部長補佐三名、総務、企画、会計の六名)を中軸に置き地域を字別に分け、その他の先輩を参与として各地区の御意見者として更に同窓各期より二名以上のクラス別幹事をつくり支部の運営と発展に結びつけて頂きたいと考えております。今日迄数回の準備会を開き各役員候補者の依頼等種々協議致しております。この案に基づき五月中旬には拡大準備会を開き六月末迄には総会を開催できるように、平塚市に在任及び通勤されている方々も是非とも御賛同、御協力を頂きますようお願い致します。

恩師訪問

レポーター

能条 斐雄 (中6)
渡辺 元彦 (中11)

五月晴の去る二十六日(日)午舎の落成記念と併せて実施したの前十時、副会長兼会報委員長の渡辺元彦さんとともに、恩師前校長鈴木昂先生を厚木市東町の御自宅にお訪ねした。

先生は数年前から御静養中であるが奥様の御案内で立派な応接室に通され、暫くすると先生は座敷の元気な声で「やあ、へんやうささん」と入ってこられた。そのお顔には、かくしゃくたるものがあり懐しさに耐えなかった。(先生は満七十歳)

悠々自適の毎日

母校九代 校長 鈴木 昂 校長先生

来意を告げると、先生は開口一番、「僕は昭和二年九月、長野県の上田中から母親の待つ郷里、「奈珂中」に転任してきた。創立四十年は祝賀を続けて二度やるのも大変なので、一年繰り上げて新校

の扉に移管され「県立奈珂中」と「文化の力」の偉大さを現わしたもので、奈高の若者達よ、「文化の勝利者たれ」と念願したもので、いずれも奈高の建学の精神にも通ずるものである。

伝承している。その昔、ギリシヤの母親は出陣のわが子に、「汝勝つて帰れ、然らずんば楯に乗って帰れ」と諭して「勝利者の印」として使用している。酒に關係の深い優勝盃よりは良いと思う。

次にペンであるがこれも昔から(Bens nighter pens)「ペン」は剣よりも強しのいた創業時代でもあった。先生方が昭和三年御大典記念に「プラタナス」の苗木を寄附されたこと、若い頃の先生の御活



お元気な先生 S49.5.26 写す

ご在職	教諭で	S 2.9.1	}	S 34.6.1

校長で

就職状況

48年就職係 井桜一俊

卒業生の方々も承知の通り、最近の進学率は年々増加の一途をたどり相当なものであり、当然その結果として就職希望者は急激な減少状態にあります。事実母校の場合も四〇年度以降、卒業生の数は毎年三六〇から八〇名と大体一定しておりますが、就職者は四五年度六二名、四六年度五四名、四七年度三六名、そして昨四八年度は僅か二名。このように四七年

プラタナスに虫

樹齢五十年の母校の象徴

世の中が何か狂った様な昨今でありますが、まさか、これに乗じた訳でもないでしょうが、昨年六月大切な縁に囲まれた母校の、「から松」と「プラタナス」に毛虫殿が突然異常発生し春夏秋冬風情を添えている母校のシンボルにも全滅の危機が迫つたので急遽消毒業者

から逃避を理由としてではなく、進学の意味を疑問を感じて進学への道を取らず、直接就職した生徒達ばかりで、学業人物共に優れ、回窓生として必らず立派な社会人となることと思えます。尚回窓の方々ははじめ多数の求望者が少いたため一期待にすぎませ

んでした。

最後に就職先を記しておきます

小田急電鉄、日本国有鉄道、富士

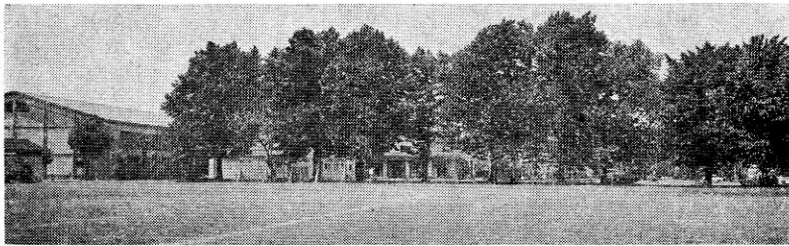
コカコーラ、ポトリング、三越、

江ノ電百貨店、近畿日本ツリス

ト、公務員、自営、などです。

願く生さるることでしょう。(事務

長・落合聰記)



会費納入状況報告

昭和48年4月より49年3月までの納入者

併中、〇中学、無印高校

▼一年分

大館 誠至 ¹⁸	田代修一郎 ³	瀬戸 忠一 ¹³	齋藤 徳一 ¹¹
関野 博 ³	島村 梅雄 ³	山田 勝朗 ⁵	広沢 富正 ⁹
柳田 敏雄 ¹²	鷲尾 彦一 ³	渡辺 政雄 ²²	渡辺 一雄 ¹⁷
吉田 英二 ³	太田 和弥 ³	加藤 輝男 ²⁰	松本 忠雄 ⁹
加藤 頼草 ³	中島 正一 ³	石原 一雄 ¹²	齋藤 和郎 ³
大森 茂 ³	武 常晴 ³	秋山 利吉 ¹¹	池谷 公男 ²⁴
栗原 英一 ³	湯沢 昇平 ³	小早川 栄蔵 ¹⁹	小早川 庸行 ¹³
熊沢 正勝 ⁸	小笠原 健二 ²²	飯田 悦郎 ²	佐草 恭造 ¹⁸
飯田 良 ⁶	広瀬 光夫 ³	飯田 源次 ²¹	芦川 典久 ¹
相原 孝一 ²²	渡辺 元彦 ¹¹	高橋 泉 ²⁵	田中 克巳 ⁸
石塚富士之助 ³	志村 長寿 ¹¹	今井 滋 ¹⁴	内藤 優 ⁶
竹田 英俊 ⁵	伊藤 昌治 ¹⁷	桜井 文隆 ²⁵	西ヶ谷 浩 ¹²
佐野 康次 ¹⁰	佐野 長治 ¹⁴	山崎 恒 ⁴	茅沼 保次 ²
足立 行雄 ⁵	尾上 一二 ¹¹	日渡 幸雄 ¹³	石井 勤 ⁶
相原 昭一 ⁷	関野 勇 ⁹	石原 公義 ⁹	石原 春男 ¹⁶
大木 伸男 ¹⁶	伊沢 章 ¹⁸	岩崎 隆 ²⁰	平井 浩一 ²⁴
村沢与四郎 ¹³	栗原 三天 ³	青木 健 ¹¹	杉山 義雄 ¹⁵

- 上村 相模⑬ 二見 一男⑤ 坂口 康夫⑱ 清田 幸宏④
- 尾沢誠一郎③ 新藤 昇⑲ 石井喜三郎⑤ 高橋 毅③
- 篠原 民夫⑱ 関野 光世⑳ 加藤 久夫⑲ 田中 米昭④
- 山崎 泰男⑲ 石井 久恵⑥ 大川 征治⑰ 岡 照男⑱
- 遠藤 高一⑤ 坪井 清⑤ 川川 貞助③ 柳川 一朗①
- 高梨 広司⑬ 山口 祥有⑰
- 栗原 元彦⑳ 込山 英雄⑨
- 中根 三郎③ 石井 郷⑦ 小沢 政男⑱ 大久保良平⑰
- 土屋 毅④ 青木 利之④ 永井 良性⑱ 鈴木英太郎⑱
- 石塚 和広④ 石原 正三⑮ 牧島 芳男③ 村田 禎志⑱
- 相原 繁久③ 石原 和夫⑱ 日吉 寅吉⑥ 小島 光昭⑬
- 中島 政元⑦ 西村 進⑮ 古宮 次郎⑱ 内藤 憲二⑥
- 中野 誠一⑤ 三岳 脩④ 仲 濤三郎⑱ 関野 大作⑨
- 杉山 健⑦ 神保 行広⑱ 松山喜代蔵③
- 田中 義昭⑬ 渋谷實治天⑱ 唐津 祥也⑱ 佐野 友保⑱
- 須崎 和蔵⑱ 奥津 光弘⑱ 伊佐山紳一⑱ 田崎 安男⑱
- 添田 豊⑧ 大川 有三⑲ 矢野 昶④ 山本 定省⑱
- 遠藤 智之⑬ 榎本 芳男⑱ 藤沢 清治⑨ 梶ヶ谷智行⑱
- 猪俣 直一⑱ 村山 美朗⑬ 中 義弘② 石垣 萌⑱
- 山崎 拓也⑦ 松本 正司④ 前田 敦子⑨ 中倉 義盛⑦
- 松本 信子⑦ 原 一雄⑧

▼二年分

▼三年分

▼四年分

▼五年分

▼六年分

▼十年分

会費納入お願い

昭和四十六年度より会費を徴集することになりました。従来なかつたことですが、本会発展のため、絶大御協力をお願いいたします。

送金の方法

折り込みの振替用紙に所定事項御記入の上、最寄りの郵便局で御送金下さい。別に振替手数料二十円を要します。なお、郵便局の受領証にて本会の領取書にかえさせていただきます。(石原記)

原稿お寄せ下さい

編集後記

紙面が豊かになり楽しくなるのも、一つ会員のみなさんの手にかかっています。とにかくニュースを添機なくされました。母校の近況と、五十周年との準備と協力を読み取ってください。

送付先 秦野市下大槻一〇三 恩師訪問は、大正から母校に教鞭をとられ昭和三十四年から御勇退までは母校校長として現在の校舎の建設をされた鈴木昂先生の訪問記を掲載できました。益々お元

表紙「広陵」題字

現伊勢原高校教諭で、歌人書生の諸兄数千の方々と共に御長寿を家の宮本信義(中も回)氏。心からお祈りします。(土屋記)

発行所 秦野市下大槻一〇三番地 県立秦野高等学校内

〒257 秦野高校同窓会 広報委員会

発行責任者 渡辺元彦(中11回) 電話秦野〇五三〇(一四二二)一七三
編集責任者 土屋毅(高4回) 青木利之(高4回) 石井郷二(高7回) 振替口座 東京二二六八九